

5年生、6年生の学生の皆さんへ

対面型臨床実習と学外実習の中止について

2021年4月19日

医学科長 匂坂敏朗
医学科教務学生委員長 勝二郁夫
同副委員長 小林成美
BSL・個別計画実習コーディネーター 河野誠司
臨床系教育専門委員会委員長 関口兼司

4月16日に教務学生係から通達があった通り、4月19日～30日の院内の臨床実習はレベルD（オンライン実習のみ）となり、学外実習も中止となりました。楽しみにされていた学生の皆さんには大変申し訳なく思っております。何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【中止の理由】

医学部長、医学科長、附属病院長が、兵庫県を含む近畿圏の新規感染者の状況、各病院の状況等を総合的に勘案した結果、対面実習を継続することが難しいと判断したためです。

今年度、臨床実習だけは万難を排して対面で行っていくことを予定していました。しかし、今回の感染状況は予想を上回る厳しさとなりました。

現在、阪神間の病院で病床運用が第1波、第3波の時よりも遥かに厳しく逼迫しています。変異株ウイルスの感染力が高く、重症化までの日数が短く、比較的若く基礎疾患の無い30～50歳代の患者の重症化が認められています。コロナウイルス感染症患者の診療のため、当院を含め多くの病院で外科手術や入院を制限せざるを得なくなっています。そして、健康な我々であっても、入院を必要とするような外傷、急性疾患に罹患した場合に、救急搬送先が無い、入院する病院が無いという状況になってきました。これが医療崩壊です。

試算によると神戸市では約200人に1人の感染者がいるとのこと。院内クラスターも複数の関連病院で発生しています。実際に先週から、医学科の学生にも感染者、濃厚接触者が複数名出てきています。

上記のように、病院の診療が限界に近付いている状況、さらには学生の間にも感染が蔓延する危険が今までになく高いことから、大学病院での実習を中止することを医学科として決定いたしました。学内の実習を中止している一方で、学外の病院に神戸大学の学生の実習をご依頼するわけにはいきません。非都市部の感染者の少ない地域での病院実習を予定されていた方もおられるでしょう。しかし、そのような病院に、感染者が非常に多い神

戸から学生を派遣することも、先方に感染を広げることになるかもしれない危険性がある中では困難です。

医学科としても貴重な臨床実習の機会を学生さんから奪うことになり、苦渋の決断であったことをご理解いただきたいと思います。

【病院見学について】

本来であれば実習期間中の病院見学は禁止されています。しかし、このような非常時ですので、先方の病院の都合等で実習期間中に病院見学に行きたい（WEB 面談も含む）希望がある場合は特例として許可いたします。希望する場合は実習診療科の責任者に事前にご相談下さい。

当院の総合臨床教育センターの HP に関連病院のマッチングに関する情報を掲載していますので参考にしてください。「神戸大学医学部キャリアカフェ」

http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/kenshu/igakubu_careercafe/

また、病院見学や今後の進路についてはチューターの先生にもご相談ください。良いアドバイスをしていただけるとと思います。

大変な時代ですが、医療者として共に戦っていきましょう。そして近い将来、患者さんのために良い医療を一緒に行っていきましょう。

今は1人1人が感染予防を徹底して自らの健康を守ってください。

何卒よろしく願いいたします。